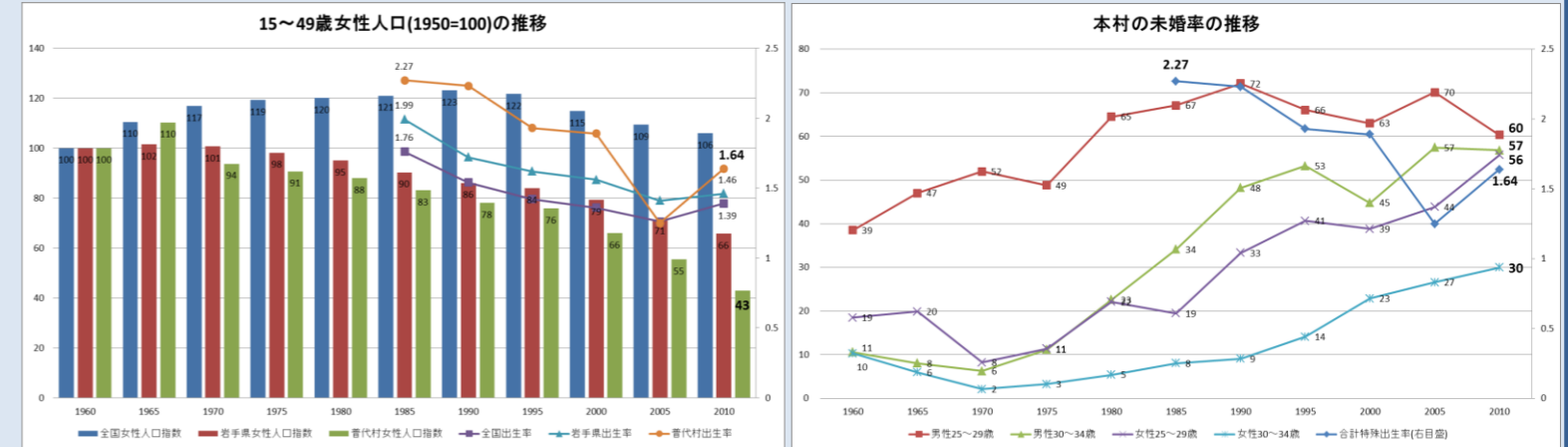
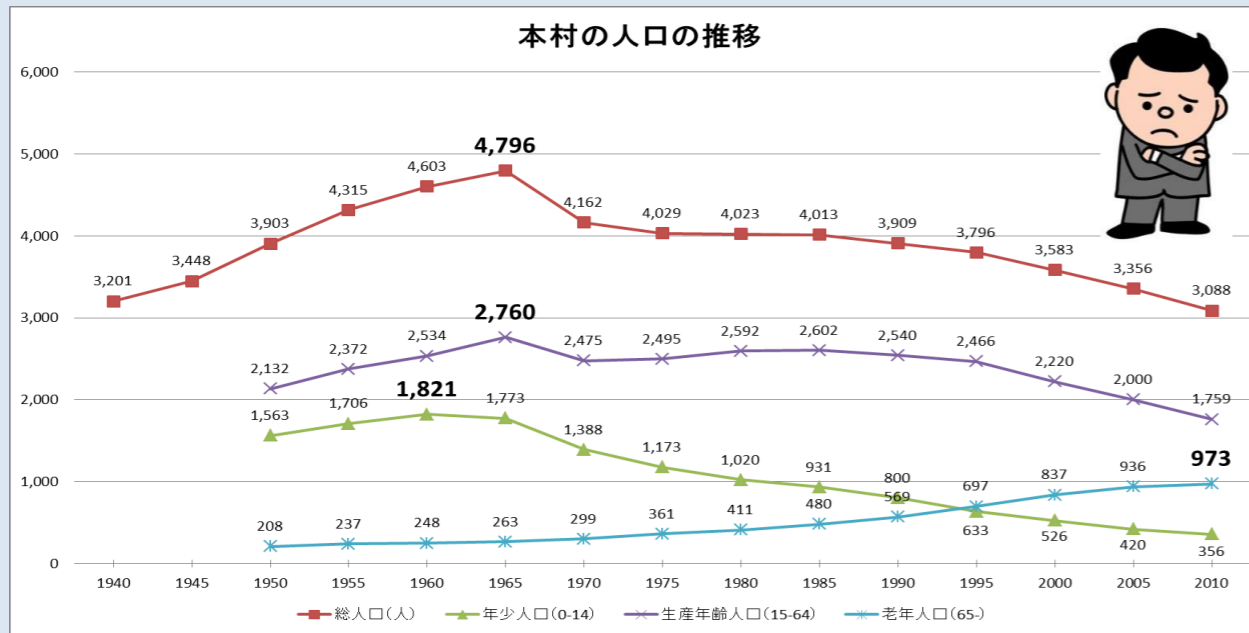


「普代村人口ビジョン」は、本村における人口の現状を分析し、今後の人口展望を示すもので、2040年、また、さらにその先の長期的な展望を示します。

### ○ 普代村の人口の現状

#### 1 長期的な人口の推移

普代村の人口（国勢調査人口）は、昭和40年（1965年）以降減少し続けています。



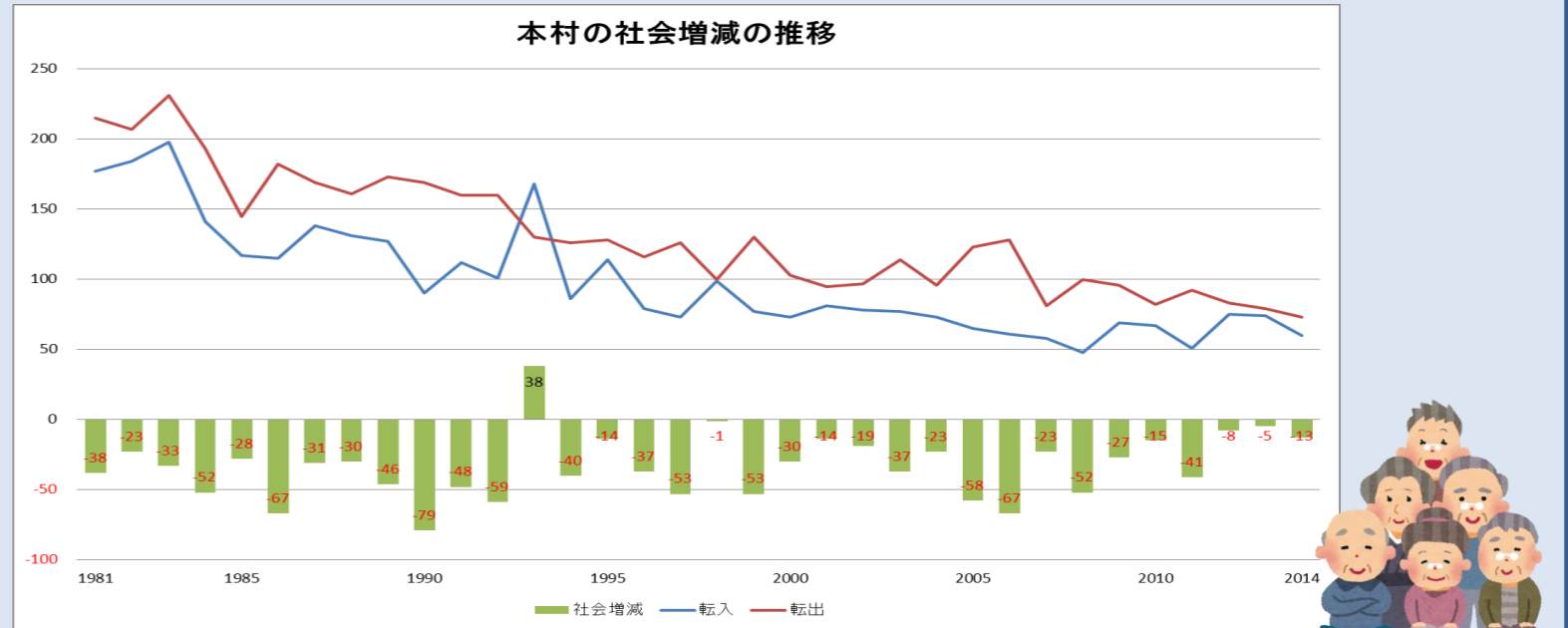
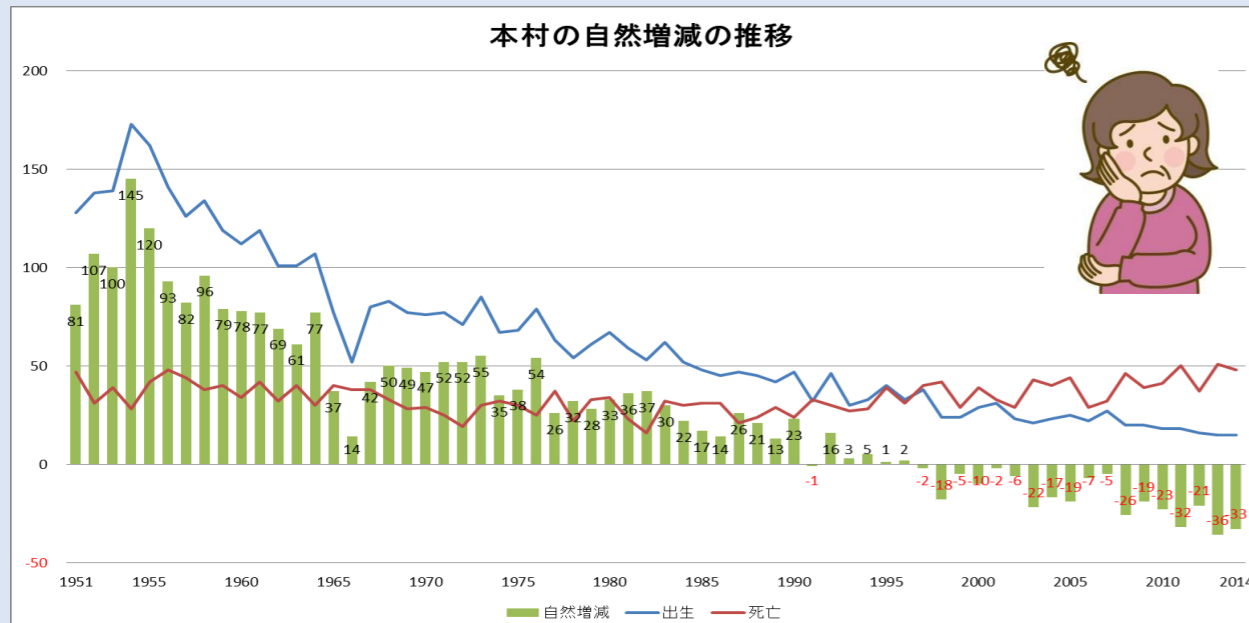
#### (2) 社会減

普代村の人口の「社会減」は、全国との経済・雇用情勢の差との関係や進学期や就職期の若者の転出による影響が大きく、特に就職期の女性の転出が原因となっています。なお、県内への転出が最も多く、次いで東京圏の転出による社会減となっています。

#### 2 人口減少のメカニズム

##### (1) 自然減

普代村の人口の「自然減」は、平成9年（1997年）以降、死亡数が出生数を上回る「自然減」の状況にあり、若年女性の減少と出生率の低迷が原因となっています。また、出生率の低迷の背景には、未婚化晩婚化の進行があります。



### ○ 普代村の人口減少に伴う課題

- ①地域経済への影響 → 生産年齢人口の減少で労働力不足と生産量の低下が…
- ②地域医療、福祉・介護への影響 → 高齢者の増加で医療、福祉・介護の需要が見込まれるが、都市部への人材流出が…
- ③教育・地域文化への影響 → 児童・生徒の減少で、学校教育や地域の文化継承活動への影響が…
- ④地域公共交通への影響 → 利用者減少で経営悪化が見込まれ、高齢者は増加し必要性は高まるが需要に応えることが難しい…
- ⑤地域コミュニティへの影響 → これまで地域が果たしてきた公助機能が低下し、こうした機能を行政などが補完する必要がある…
- ⑥行財政への影響 → 経済規模が縮小した場合、税収減と財政の硬直化が…

普代村まちづくりアンケート集計結果においては、「①地域経済への影響」と「②地域医療、福祉・介護への影響」を懸念する割合が高くなっています。生産年齢人口の減少による生産力の低下と後継者不足がより深刻化し、さらには、全国的な高齢化による地域医療、福祉・介護を担う労働力不足が懸念されます。